

公の施設の指定管理者における業務状況評価

平成28年3月16日

施設名	高知県立高知公園	所管課	教育委員会 文化財課
-----	----------	-----	------------

1 施設の概要

指定管理者名	入交グループ高知公園管理組合	指定期間	平成25年4月1日～平成30年3月31日
施設所在地	高知市丸ノ内1丁目2-1		
事業内容	(1)高知公園内の清掃 (2)高知公園内の植栽、樹木管理 (3)高知公園内の重要文化財建造物、石垣など文化財以外の工作物、建造物の管理 (4)特定公園施設の管理(天守、懐徳館、駐車場などの利用料金の収受を含む) (5)その他高知公園の維持管理		
施設内容	○面積、施設・設備名、定員、開館時間、休館日、主な料金など ・土地面積:102925.48㎡ ・建造物:天守、懐徳館、東多門、廊下門、詰門、鉄門、追手門、管理事務所、休憩所、トイレ5棟、プレハブ小屋1棟、休憩所1棟、倉庫1棟 ・開館時間:天守、懐徳館等(9時から17時) 駐車場(7時30分から18時30分) ・利用料金:天守・懐徳館、納戸蔵、東多門、廊下門入館料 大人一人420円 駐車場 自家用車基本料金360円・超過料金100円 バス基本料金570円・超過料金220円		
職員体制	常勤職員: 9人 非常勤職員: 12人 合計: 21人		

2 収支の状況

単位:千円

		平成25年度(決算)	平成26年度(決算)	平成27年度(予算)
収入	県支出金	33,800	33,800	33,800
	使用料・手数料	111,325	107,956	98,251
	その他	11	7	0
	収入計 (a)	145,136	141,763	132,051
支出	事業費	6,627	6,518	4,000
	管理運営費	44,954	34,428	36,741
	人件費	92,122	95,705	91,310
	その他	0	0	0
	支出計 (b)	143,703	136,651	132,051
収支差額 (a)-(b)		1,433	5,112	0

3 利用状況

	平成25年度(実績)	平成26年度(実績)	平成27年度(目標)
①年間利用者数(単位:人)	260,807	247,266	215,888
②利用者意見等の反映	<p>○ 利用者アンケート等の実施状況(時期・方法・回答数・調査結果等)</p> <p>1 時期:全期間 2 方法:公園内2箇所にアンケート箱を設置し、投函して頂く 3 回答数:922件(前年1,023件)</p> <p>概ね、高知城に対する好印象が書かれている。今後は、利用者の意見をくみ取り改善につなげる事ができるようアンケート内容を見直すことを求めたい。</p> <p>4 アンケートに記載された主な意見: ①公園内で歌手やキャラクターショーなどイベント開催の要望 ②公園の適切な管理に対する評価 ③重要文化財建造物について保存の要望 ④音声ガイドの整備など見学施設の充実に対する改善要望</p>		
③その他特記事項	<p>大河ドラマ「龍馬伝」放映終了後も「リョーマの休日」キャンペーンなど高知県全体をPRする取り組みが継続的に行われている。</p> <p>天守・懐徳館等の入館者は、高知市内の主要観光施設の入館者数が減少する中、高知公園も同様の傾向を示しており、13千人余り(対前年94.8%)の減となった(25万人を下回ったのは、平成20年度以来)。</p> <p>駐車場については、利用台数が年間約8.2万台の水準まで低下、前年比8.085台の減少となった(対前年92.0%、8.5万台を下回ったのは、平成20年度以来)。</p>		

4 平成26年度業務評価

項 目	状 況 説 明
①適正な管理運営の確保	<p>建造物の清掃などの日常的な管理や公園外周側溝の浚渫、公園内の清掃、窓口業務等についても適切に実施された。特に高木剪定、台風による倒木(杉の段北側)の早期除去など、公園の環境改善に積極的に取り組んだ。また、指定管理者自ら、外部評価委員会を設けそのアドバイスを元に業務改善に取り組むなど、管理運営の適正化に向けて意欲的な取り組みがなされた。</p> <p>一方、利用者アンケートの回答に定型的なものが見受けられることから、提案書に記載があったアンケートなどの改善により利用者のニーズを引き出す工夫が必要である。また、事務執行においては、県との定期協議を密に行うとともに、提出物の期限内提出に努めることが必要である。</p>
②利用者サービスの維持向上	<p>外部評価委員会や利用者アンケートに基づいた利用者サービスの向上や、土佐観光ガイドボランティア協会と連携した3名のガイドの配置、夏季の入館者へのおしぼりサービスやミストテントなど、利用者の立場に立った取り組みが継続的に行われた。また、指定管理者としてイベントを開催するとともに、県の主催するイベントにも参加し、円滑な実施に協力するとともに、ゴールデンウィークや指定管理者の実施する事業及び県、高知市の観光イベント等に対応して、開館時間の延長など来園者の利便性を高める取り組みが行われた。</p> <p>今後は、2020年のオリンピック・パラリンピックに向け外国人観光客が増加する事が予想されるため、外国人が多く来館した時の対応などに取り組むことも課題である。</p> <p>また、南海トラフ地震への備えとして災害対応マニュアルの整備及びマニュアルを活用した避難訓練の実施も課題である。</p>
③利用実績	<p>天守・懐徳館の入館者数は、8月に高知県を襲った台風など天候不順の影響により、前年より1万3千人余り減少したものの、主催する行事のテレビコマーシャルを放映するなど、集客に向けて意欲的な取り組みがなされたことなどから、目標値22万5千人を上回る247,266人となった。高知市内主要施設が、軒並み前年度より大幅に減少している中で減少率が低いことから、健闘したと判断される。</p> <p>今後は、利用者サービスの向上に努めるとともに、県や高知市、各観光施設等と連携して誘客の取り組みを進めることにより、入館者等の減少傾向に歯止めをかけることが必要である。</p>
④収支の状況	<p>収支とも予算(計画額)を上回った。</p> <p>収入が上回った要因は、入館者及び駐車台数が目標を上回ったことに伴う、利用料金収入の増である(計画対比: +9,704千円)。ただし、対前年では87.3%の収入となっている。</p> <p>支出の増加要因は、入館者が目標値を上回ったことに対応して、イベント経費や日常的な管理経費が増加したことや、積極的な高木剪定、台風等による倒木の処理などによる管理経費の増加があげられる(計画対比: +4,600千円)。</p> <p>計画額を上回った収入については、利用者サービスや高木剪定など環境改善に向けた積極的な対応に係る経費として支出されているが、毎年度、実績額が計画額を大きく上回っていることを踏まえ、予算段階から事業と予算の精査を行い、より計画的な執行を求めたい。</p>
総合評価	<p>総合的に必要な水準を上回る管理状態が維持されている。</p> <p>・集客については、主催する行事のテレビコマーシャルを放映するなど周知を図る意欲的な取り組みがなされた。</p> <p>・来園者へのサービスについては、ボランティアガイドの配置や夏季のおしぼりサービス、ミストテントの設置など行き届いた心配りがなされた。</p> <p>・公園管理としては、倒木への対応や高木の計画的剪定に積極的に取り組むなど、年々改善に向けた努力がされている。</p>

【評価の目安】

- A: 仕様書の内容や目標を上回る成果があり、優れた管理運営が行われたもの
- B: おおむね仕様書の内容どおりの成果があり、適正な管理が行われたもの
- C: 仕様書の内容や目標を下回る項目があり、さらなる工夫・努力が必要なもの
- D: 管理運営が適切に行われたとは認められず、大いに改善を要するもの